

あなたの腸内年齢は何歳？

免疫力は健康な腸内環境!!

ビフィズス菌をはじめとする
善玉菌が充分活躍できる腸が
体を元気にして、なおかつ
免疫力を高めてくれる。



乳酸菌共生培養濃縮液
プラサーダ
Prasāda

主成分である有益菌生産物質とは
有益菌が発酵することで分泌され
るエキス。世界各国から選び抜かれ
た有益菌25種から独自の製法で抽
出したエキスを20倍まで濃縮!
さらに約1年間熟成させます。

免疫力など、人間本来が持つ自然治癒力を高め「病気に強い体づくり」
のキーワードは腸内環境にあった。腸内にはビフィズス菌を含む乳酸菌酵母
菌などのいわゆる**善玉菌**だけでなく、大腸菌やウエルシュ菌などの悪玉
菌が棲息しています。そして善玉菌は食物の消化吸収を助けるほか様々な形
で人体の生命活動に関わっていることが医学的にも明らかになってきました。
生後6ヶ月以内の赤ちゃんを調べると善玉菌が92%以上もありますが、20歳
になる頃には一気に10%前後になってしまうのです。
この**10%はボーダーライン**でこれを下回れば悪玉菌に対抗
できず免疫力が低下し、生活習慣病をはじめ様々な病気にかかりやすくなる
と言われています。

「乳酸菌」について?



糖を分解して乳酸発酵する(乳酸をつくる)細菌のことで、ビフィズス菌、酵素菌と並び善玉菌の代表的なものです。

乳酸菌は乳酸の生成によって、悪玉菌の増殖を抑制したり、食品の保存性向上させるなど、乳製品、醸造食品などの製造にも重要な役割を担っています。また、乳酸菌には整腸作用もあり、乳酸菌を使用した整腸剤の製造も行われています。

そもそも乳酸菌生産物質とは様々な乳酸菌が、それぞれ特徴ある生産物質を作り出し、私たちの身体構成している細胞そのものを刺激し活性化するものであります。すなわち乳酸菌が発酵することによって分泌されるエキスのことであり、専門的には発酵代謝物であります。

乳酸菌生産物質にはアミノ酸、ポリペプチド、酵素、有機酸の他に免疫性成分や抗菌性成分なども含まれており、これらは身体において不可欠なものであります。まさに乳酸菌生産物質は免疫力を高めたり、疾病を回復させるなどの生体防御機能をもっており、「バイオジエニクス」と称され分類されています。まさに乳酸菌や納豆菌などの総称である「フロバイオティクス」や、オリゴ糖など総称である「フリバイオティクス」とは全く異

「乳酸菌生産物質」について?

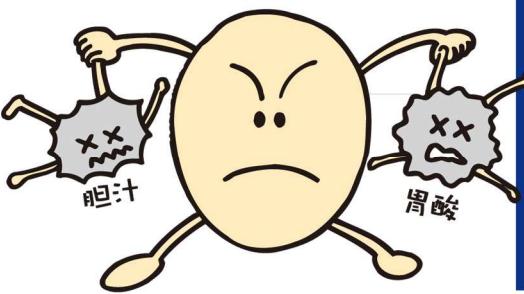
なる発想から生み出されたといえます。

「乳酸菌生産物質」の優れた特徴としては、

「胃酸・胆汁に強い」、「そのままの形で腸まで到達できる」ということが挙げられます。また、腸に届くまでの間にでも胃などの消化器官で消化

吸収されるため、効率が良いというメリットもあります。

さらに、「乳酸菌生産物質」は菌ではなく、酵素であるため、人体の免疫細胞からの攻撃を受けずに体内に吸収されるのです。



多くの免疫細胞が集まつた免疫システムの中で重要な役割を担うNK(ナチュラルキラー)細胞をご存知ですか?

NK細胞は細胞の悪性化ウイルス感染等によって体内の異常な細胞が発生した際にすぐにそれらを攻撃し初期防衛対応する非常に重要な免疫細胞です。NK細胞は常に全身を回り癌化した細胞やウイルス感染細胞がないか探し出し異常細胞をすぐさま攻撃死滅させます。

免疫細胞の約70%は腸内で作られる!

NK細胞を正常に安定させるには腸内環境を整えることが大切です。NK細胞をはじめとする免疫細胞は60~70%が腸内に存在しており、腸の健康が免疫細胞の働きには重要であり、腸内環境を整え安定させることが一番です。



人の「健康」は腸内環境にあつた

「乳酸菌生産物質」の効果とは?

「乳酸菌生産物質」を飲むと、胃壁や腸壁から消化吸收され、血液やリンパ液の流れに乗つて全身へと送られます。つまり、「乳酸菌生産物質」を飲むということは直接、免疫細胞に働きかけることであり、それによってガンや生活习惯病を一切の副作用なしに撃退することになるのです。

「乳酸菌生産物質」の中には生命活動や各種臓器の働きに欠かせないアミノ酸、ポリペプチド、ポリペプチド、腸内有益菌活

性成分細菌酵素、免疫性成分、天然核酸、SOD様物質（活性酸素阻害物質）等があり、さまざまな人間の腸内有益菌の活性化により人間が本来持つ自然治癒力を高め、自律神経や内分泌系の機能を調整する効果（ホメオスタシス効果）がみられます。また、腸から吸収され人間の60兆にも及ぶ細胞のすべてに働きかけ、代謝を活性化することが高いことも確認されています。

さらに、「乳酸菌生産物質」にはビタミンやミネラル、アミノ酸などの成分も多く含まれていることから、栄養素としても効用が大きく期待されているのです。

「乳酸菌」の疾病予防効果

乳酸菌の特徴としてはまず、抗菌作用があることが挙げられます。通常、乳酸菌の発酵によつて乳酸、酢酸、プロピオノン酸、ギ酸あるいは過酸化水素を生成し、これらも強い抗菌作用を示しますが、有用乳酸菌にはいろいろな抗菌性物質も生産するのです。乳酸菌が抗活性を持つていることはすでにさまざまな報告がありますが、乳酸菌の経口摂取による免疫賦活化作用による場合が多いとされています。

乳酸菌共生培養濃縮液「プラサーダ」は、世界で最も優れた特色のある有用乳酸菌・酵母菌等の菌株を集めて共生培養した菌の代謝産物を低温濃縮したもので、これは多くの生物学的機能をもつた乳酸菌の最も濃縮した形の飲み物である。

帯広畜産大学 元学長・名誉教授

故 大原 久友

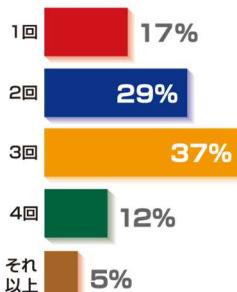
毎日飲用する事がたいせつです!

プラサーダは毎日欠かさず飲用することにより、細胞を活性化させ、病気を寄せ付けない身体作りに働きかけます。

- 健康維持の方／1日1～3回
- 改善したいお悩みをお持ちの方／1日3～4回
- ※それ以上飲用されても一切問題ございません。

愛飲者データを集計しました

●1日に飲用する回数は?



●この様なご報告をいただいております。



(Plasada ライフコーナーお客様データにより)

※あくまでも個人の感想です。



「乳酸菌生産物質」Q&A

Q. 「乳酸菌生産物質」はどのように摂取するのが良いのでしょうか?

A. 水または、体温に近い(36℃程度)ぬるま湯に混ぜて飲むことをお勧めしますが、ジュース類の飲料、または、みそ汁などに混ぜて飲んでいただいても品質は変化いたしません。

Q. 「乳酸菌生産物質」を飲む時間や回数は決まっているのでしょうか?

A. 医薬品ではありませんので特に決まりはありませんが、1日に飲む量を3~4回に分けて飲むことをお勧めします。「朝起きてすぐ」「昼食の30分前」「夕食の30分前」「寝る前」など、神経が穏やかで消化吸収しやすい時に飲用されると効果的です。

Q. 「乳酸菌生産物質」を飲んでも副作用の心配はないのでしょうか?

A. 「乳酸菌生産物質」はもともと人体の腸内に棲んでいる腸内細菌が作り出した成分ですから医薬品のような副作用は全くありません。

Q. 人間だけでなく、ペットや他の動物に飲ませても問題ないのでしょうか?

A. 人間と同じく副作用は全くありませんので、安心して飲ませることができます。またある動物病院で犬・猫の臨床試験をしたところ「ガン細胞の抑制」「傷口・ただれ・おできなど著しく治りが早い」などのデータが出ており、家畜の肥育が促進したり、鶏の寿命が伸びて収穫される鶏卵が増えたなどの報告も寄せられています。

Q. 「乳酸菌生産物質」やビフィズス菌は人体の免疫機能に対して、どのように働きかけるのでしょうか?

A. 多くの科学者や医師によって、ビフィズス菌などの腸内細菌が人体の免疫機能に大きな影響を与えていているということは、すでに明らかにされています。まず、ビフィズス菌は腸管を媒介して免疫細胞と情報のやりとりをしているほか、ビフィズス菌などが産出する「乳酸菌生産物質」が免疫細胞を活性化させていると考えられているのです。「乳酸菌生産物質」は生理活性糖タンパク質であるサイトカインと良く似た働きをします。このサイトカインは一種のホルモンであり、人体の免疫細胞群にはこのホルモンによって活性化されているのです。

Q. 「乳酸菌生産物質」は飲用以外の他に、どのような使用法があるのでしょうか?

A. 歯磨きの際に加えると雑菌の繁殖が防げられ、口内がさっぱりして口臭を防止することができます。また、湿布薬と併用すると皮膚に浸透して炎症をやわらげることも知られています。その他、パンの製造時に「乳酸菌生産物質」を加えると、酵母菌であるイースト菌の発酵を助成して発酵時間が短縮され、出来上がりの量も増えます。しかも、「乳酸菌生産物質」には忌避効果があるため、カビにくくなり長持ちします。さらに、「乳酸菌生産物質」にはアミノ酸が含まれているので、調理の際に食品に混ぜると食味が向上します。そして、農作物や草花に対しては「乳酸菌生産物質」が土中菌に働きかけるため、育成を促進し、雑菌の繁殖を抑制することも報告されています。

Q. 「乳酸菌生産物質」と、一般的に市販されている乳酸菌飲料や生きた乳酸菌などの製品はどこが違うのでしょうか?

A. 腸の中の善玉菌を増やすことを目的としているのが、乳酸菌飲料などですが、大多数の生菌は胃液や胆汁などで死滅してしまい、腸までたどりつくことができません。また、たとえ到達してもその人の固有菌と同じでなければ、すぐに排泄されてしまうのです。その点、「乳酸菌生産物質」は体外の管理が行き届いたプランで菌を繁殖させて生成した物質のため、酸に浸されることなく腸まで到達することができ、ビフィズス菌などの善玉菌の良好な働きをサポートするのです。

プラサーダは天然成分100%!! 添加物を一切使用していないので
赤ちゃんからお年寄り、妊娠中の方にも安心してご利用いただけます。

お肌しっとり、
手術の痕もすっかりキレイです



佐賀野 千晶(さがの ちあき)

フリーアンサー。札幌を中心にテレビ、ラジオ、イベント司会などで活躍。現在はHBCの「ピタミンTV」にレギュラー出演中。

健康管理にはとても関心が高く、趣味はゴルフというスポーツツーマン。

『最近、お肌の状態がすごくいいですね～』私の肌のことを誰よりもよく知るメイクさんの一言です。

確かに…最近お肌にしつり感があり、お化粧のノリもとてもいいのです。近頃は、エステも行ってないし、特別なことは何もしていないのに…?と一瞬考え、すぐさま思い浮かんだのは《プラサーダ》でした。平成14年4月の末から、朝晩1日2回飲み始め、そろそろ1年半になろうとしています。

というのも平成14年4月の末に私は手術をするようになりました。術後回復のためにと飲み始めたのがきっかけでした。私にとって、生まれて初めての手術。体質によっては、ケイロドットにもなることもあるという話を聞き、手術前は不安な気持ちでいっぱいでした。できるだけ早く、そしてきれいに治ってほしい!そんなときに《プラサーダ》を勧められたのです。

術後は何のトラブルもなく、順調に回復。手術から10日後にはテレビの仕事にも復帰しました。そして、手術から数週間後…傷に貼っていたテープが剥がされました。初めて見る手術の傷痕がとてもきれいで、涙が出るほど嬉しかったことは今でも忘れません。これも《プラサーダ》を毎日飲み続けた効果かなと喜んでおります。

最近では大好きなゴルフもできるようになりました。ラウンド中に必ず持ち歩いているのが、《プラサーダ》入りのお水です。疲労の回復も早く感じられます。

これまで当たり前のよう手にしていた健康ですが、入院・手術を経験し、健康の大切さを本当に実感しました。

これからも健康と美容のために《プラサーダ》を続けていくつもりです。

自然治癒力を高めることへの期待

柳澤厚生 杏林大学医学博士
「あるある大辞典」「アラタックル」などテレビ番組でコメントーターとして活躍。東洋医学の医学的研究の第一人者。

一ダは約60兆個もの細胞に働きかけて自然治癒力を高め、腸内の有益菌を活性化させることにより肝硬変・肝臓肥大・慢性肝炎・糖尿病などの治療を予防に期待が持てます。

攻めの姿勢が病気体質を克服

サプリメントの用い方のひとつとして、食事で不足しがちな栄養素を補給するという考え方があります。こうした考え方を健康維持のための「守りの姿勢」とするなら、もう一步踏み込んで、健康増進のための「攻めの姿勢」としてサプリメントをとらえることができます。つまり、日常の食事から摂取するよりも少し多い量の栄養素を摂取することで、病気を退治する薬理的な働きが期待できるということです。例えば、協調活生菌エキスには臨床の現場や医療の研究データから、次のような効用が報告されています。

こうした作用は、この10数年の間に次第に認められるようになり、今では治療の補助療法として、また、副作用の緩和、術後の回復の促進に効果があるとして、実際に医療の現場で活用されています。まずは、良いとされるものからトライしてみるとが大切です。ナチュラルな天然成分ですから、副作用はほとんどありません。本当に自分に合つた栄養療法を見い出すことで、生きる姿勢はもつと能動的になるに違いありません。

- ①ガンを縮小。体の免疫を活性化し、ガンの発生を防ぐ。
- ②肝硬変、肝臓肥大、慢性肝炎などが軽くなる。
- ③血糖値を下げ、糖尿病などの発生を防ぐ。
- ④胃腸の動きを活発にし、食欲を増進する。
- ⑤老化などの原因となる体の細胞の酸化を防ぐ。

お客様の「よろこびの声」が届いています。

愛媛県 佐伯様

「プラサーダの力強さを感じて…」

私がプラサーダを知ったのは二十数年前です。知人からのススメでした。その頃私の母がC型肝炎から癌になっていました。その当時は私の母を含めC型肝炎から癌になった女性三人を手掛けていました。私がプラサーダを初めて買ったのはその頃です。勿論母に飲用させる為です。それから母を説得して、先生に内緒で、プラサーダを朝晩飲用して一ヶ月後、母は退院し、三ヶ月ごとの検診に変わりました。母が退院してから二年、患者の一人が亡くなり、もう一人もその半年後に亡くなり…先生は母に限りなく薬が効いていると言っていました。勿論先生はプラサーダの事は知りません。私はプラサーダの力強さを感じています。

北海道 半田様

「ピックリ! 胃のポリープが…」

健康食品に限らず、何事にも自らの体験談を書こうなどと考えない私が、今回ばかりは別でした。書かないではないから書かなかった訳です。内臓器官の組織を改善するからという娘のふれ込みで、飲み始めたプラサーダ。当時胃の中に3か所ほど大きなポリープを持ち、加えて胃潰瘍も見られるという医者の診断で少々諒めでいましたが、飲み続いているうちにいつしか胃の調子もよくなり、食欲も出て体重も3kg増えたのです。これは…と思い、期待しながら胃カメラをしてもらったら…医者も驚き! 私もピックリ! 胃はポリープもなくなり、多少の胃炎程度に良くなっています。本当にプラサーダのお陰と感謝しています。勿論、これからも飲み続けて、益々元気になりたいと思っています。

北海道 小林様

「長年の苦しみから解放!」

私は10数年気管支が悪く、医者を変えては薬治療、又は免疫治療を続けてきましたが、なかなか改善されず体質と諦めてきました。そんな時になにかでプラサーダを知り、飲み始めました。まわりからは「また始まった」と言われました。というのも今まで、あの薬がいいと言われると買おう、良くならないと言つてはまた…と繰り返していましたので無理もないのですが…それでも苦しみから解放されたいと思い3ヶ月前からプラサーダを飲み始めましたところ、自分でほっきりわかる位に疲労感がなくなり喉のイガイガが取れ、咳も飲む前より減ってきていました。日常生活をしていて、「風の吹かない日はあっても咳をしない日はないね」と言っていた子供たちが「最近咳しなくなったね」と驚いております。

すべての有益菌（乳酸菌・酵母）の可能性を引き出す協調活性発酵技術

1985年より変わらぬ
製法で乳酸菌共生培養物を
今も作り続けています。

乳酸菌共生培養物の 製造工程概要



より効果的な有益菌を数多く集めた製品は今までにも多々ありましたが、乳酸菌の場合は今までにも多々ありました。乳酸菌の培地を使い、発酵状態に合わせ段階的に外部から温度を上下させ、発酵させます。これは25種類それぞれの純粋株の発酵適性温度は20℃～45℃と幅があるため、この工程により、純粋株の発酵が強化され、さらに発酵適正温度に柔軟性を持たせることができます。



発酵特性の違う25種類の乳酸菌と酵母菌を使い、発酵状態に合わせ段階的に外部から温度を上下させ、発酵させます。これは25種類それぞれの純粋株の発酵適性温度は20℃～45℃と幅があるため、この工程により、純粋株の発酵が強化され、さらに発酵適正温度に柔軟性を持たせることができます。



次に、強化された純粋株を8つのグループに分けて試験管内で第一次共生発酵を行います。さらに、第二次、第三次とこの工程を行い、最終的に25種類すべての乳酸菌がバランスよく発酵している協調活性種菌をつくり出します。

今度はこの種菌を使い、数種類の天然エキス配合の大豆ミルクを特殊フィルムでできた培養タンクで、約120時間かけて協調活性大量発酵を行います。それではこの種菌が最高の状態で、でき上がった協調活性ヨーグルトは、速やかに冷却し、特殊繊維の袋を使い低温で一昼夜かけて自然落下分離を行います。これによって固体部分と協調活性生産物質とを分離させることができます。

分離した協調活性生産物質の原液は約20分の1まで低温濃縮後、一定温度内で約1年かけて熟成さいます。

このような工程を終て「プラサーダ」は製造されています。

バランスのとれた共生状態をつくり出す



独自の技術とノウハウから
プラサーダは製造されています。

培養と培地の処理



乳酸菌は種類も菌株も多いので菌種の特徴を踏まえ、もっとも好ましい環境で菌株を群分けし、共生培養します。その後、培地（大豆ミール）の加熱殺菌などの処理を行います。

培養と分離



菌種を生育適温条件下で一定時間（通常96～120時間）の培養を行います。培養の終わった発酵乳（ヨーグルト）は自然分離法によって液体部と固体部に分離されます。

濃縮と熟成



分離した液体部を低温で原液の15分の1、または、20分の1程度に減圧濃縮します。これらを約1年にわたり、一定温度内で熟成させます。

プラサーダのアミノ酸組成

アミノ酸の成分	遊離アミノ酸	低分子タンパク主にペプチド
アスパラギン酸	11.17	137.9
★スレオニン	0.64	45.7
セリン	0.84	44.6
グルタミン酸	23.67	275.9
グリシン	1.65	42.7
アラニン	2.49	32.7
ジスチジン	5.67	13.5
★バリン	1.87	28.4
★メチオニン	0.04	12.2
★イソロイシン	0.79	34.1
★ロイシン	2.10	44.2
チロシン	3.26	24.0
★フェニルアラニン	5.28	33.1
★リジン	0.29	72.7
★ヒスチジン	2.02	33.6
★トリプトファン	1.84	
アルギニン	13.22	84.3
プロリノ	2.19	61.6
計	78.40	1,021.2

*印は、必須アミノ酸（単位はμg/100mL）

こうした過程を経て、出荷基準をクリアしたプラサーダ。熟成した樽の上澄みだけをすくい1本一本ボトルに詰め、心を込めてお届けしています。

プラサーダのアミノ酸組成は次の表のとおりです。



人間の腸内有益菌を活性化し、また、腸から吸収され、人間の6兆にも及ぶ細胞に働きかけ、代謝を活性化させる成分であります。

プラサーダは、D様物質（活性酸素阻害物質）等のさまざまな有効成分が凝縮されています。

ご注文方法

ご注文は、全国通話料無料のフリーダイヤルで承ります。また、FAX（24時間受付）でのご注文も承ります。

0120-531-531
Fax 011-272-2332

発送について

送料無料!! 発送はゆうパックまたは宅配便でお届けいたします。
ご注文が1万円以下の場合、別途送料がかかります。

お支払い方法

お支払いは、代金引換か現金書留または郵便局の振込用紙（共に商品到着後7日以内）をご選択ください。ただし、初回のみ代金引換とさせていただきますのであらかじめご了承ください。

Prasāda

乳酸菌共生培養濃縮液 プラサーダ



お徳用サイズ380ml

54,000円[税別]



レギュラーサイズ190ml

29,000円[税別]



ブッシュタイプ30ml

6,500円[税別]

適量を水などで薄め1日に2～4回お飲みください。

ご注文・お問い合わせはフリーダイヤルで

0120-531-531

受付時間／月曜日～金曜日 AM9:30～PM6:00 定休日／土曜・日曜・祝日

プラサーダのあゆみ
プラサーダの語源は淨土真宗本願寺派の鏡如上人がヨーロッパ・アジア諸国での探検旅行での醸乳製法のアイデアにより乳酸菌培養物に力を注ぎ、心の健康は仏法で、体の健康は共生培養した乳酸菌で達成したいとし人間自身の安らぎ、幸福、平和へ運動するという発想であり、「如來の恵み」とされています。

株式会社「プラサーダ」は昭和後期より何種類もの乳酸菌を研究し平成元年オリジナルブランド「プラサーダ」の生産・販売を開始、現在全国のご愛飲者のものと日々研究を重ねています。

P プラサーダ ライフコーナー

Prasāda 販売元 札幌市中央区南1条西5丁目7-1 豊川南1条ビル8階

TEL (011) 272-2370 FAX (011) 272-2332